

150MHz帯特定小電力無線(ARIB STD-T99)

150MHz帯特定小電力無線は平成20年に施行され、社団法人電波産業会が「特定小電力無線局150MHz帯動物検知通報システム用無線局の無線設備 標準規格 ARIB STD-T99」として規定しています。

主な用途は、国内を移動する動物の行動及び状態に関する情報の通報またはこれに付随する制御をするための無線設備です。



サルの行動・位置調査

サルはメスを中心とした母系社会で群れをつくり、群れごとに行動します。群れの成獣メスに送信機を装着して、送信機からの電波の強度及び個体識別符号(ID)から得られる情報により、群れ全体の行動や位置を把握することができます。



独立電源・雪国仕様の設置例

動物検知通報送信機

LT-01

150MHz

主な 特長

- ◆ 技術基準適合証明取得済み
- ◆ 伝播特性が良好な
150MHz帯の5チャンネル
- ◆ 変調はアナログのMSK変調方式
- ◆ 送信電力は10mW以下
- ◆ 通信距離は最大1km程度
- ◆ 従来からの音響ビーコンに加え、
個体識別符号(ID)を付加
- ◆ 電池寿命は約3年



サル接近警戒システム 猿人善快

調査のデータをもとに、接近警戒システムを設置します。サルが接近するとサイレンやパトライトで周囲に知らせ、さらに携帯電話網やインターネット網を利用して広範囲に通報し、追い払いなどに活用することができます。受信履歴を保存することで追い払いの成果あるいは設置の効果が数字に表れます。PC持参の必要はなくUSBメモリだけでその履歴データが回収できます。

猿人善快
開発製造元

有限会社 青電舎

〒703-8207 岡山県岡山市中区祇園433-6
Tel 086-275-5000 Fax 086-275-8898
email seiden@po.harenet.ne.jp
http://www.seidensha-ltd.co.jp/~seiden/